



■展示ブース見学(雲仙市)



■装備品展示(雲仙市)

## 島原市・雲仙市 防災訓練参加

長崎地本(本部長 江上昌利 1等海佐)は、令和3年11月7日(日)島原市防災避難訓練(島原市立第二中学校)、雲仙市防災訓練(雲仙市立千々石中学校)に参加した。今年度は、コロナ禍ということもあり、例年より規模を縮小しての訓練となった。長崎地本は、各訓練会場において展示ブースを設置し、「災害派遣活動パネル展示」、「装備品(車両、非常用糧食及び戦闘用糧食II型)展示」を実施した。「災害派遣活動パネル展示」では、令和3年8月豪雨で被害を受けた雲仙市での行方不明者捜索活動の様子を展示した。新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクをつけ、足場の悪い中で泥まみれになりながら捜索活動を行う自衛隊員のパネルを見て、見学者から激励のお言葉をいただいた。「装備品展示」では、自衛官が訓練などで食べているものに興味津々。レトルトパックの温め方について質問があり、水と発熱剤を使って温めることを説明すると感心された様子で、20種類近くあるメニューの豊富さにも驚かれていた。



■展示ブース見学(島原市)

今回の訓練に参加したことにより、防災機関関係者、地域の方々へ自衛隊の活動を知っていただく良い機会となった。今後、各自自治体で行われる防災訓練に参加し、防災関係者との連携強化を図りつつ地域の方々への自衛隊活動に対する理解を深めていく。

(総務課)



発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

## インターンシップに大村城南高校の生徒が参加



■通信回線構成の体験(陸自大村)



■板金作業体験(海自大村)



■救命衣着用体験(海自大村)

大村地域事務所(所長 江保志 1等陸尉)は、令和3年12月7日(火)から12月9日(木)の間、大村城南高校からの依頼を受け、海上自衛隊第22航空群(群司令 海将補 國見泰寛)及び陸上自衛隊大村駐屯地(司令 1等陸佐 福添哲生)支援のもと、大村城南高校1年生2名に対してインターンシップ(就業体験)を実施した。本インターンシップは、学生に対して自衛隊の職場や仕事内容について、実際的な知識や技術に触れることにより自衛隊に興味を持ってもらうとともに学校との連携強化を促進することを目的として毎年実施している。

1日目は消防車や艦載ヘリコプター見学、基本教練、施設研修等が行われ、2日目はシードルーム(管制所)見学、気象観測体験、陸上自衛隊車両の体験試乗を行い、3日目は板金作業(ドッグタグ)体験、自衛隊装具等装着(背のう、ドーラン)体験を行った。

大村地域事務所は、多くの学生に自衛隊に対する理解を深めてもらい、志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていく。

(大村地域事務所)

国家を守る、  
公務員。  
自衛官募集中



令和3年12月22日(水)、島原地域事務所(所長 堀一彦 1等陸尉)は、島原文化会館で開催された株式会社日本ドリコム主催の「ミラ☆ツクフェスティバル2021年冬季」に参加した。



島原地域事務所の説明ブースへ参加した学生に対して、自衛隊の魅力や自衛官の仕事内容や各種採用試験等について説明を実施した。

会場全体の来場者は、進学希望の学生が多いこともあり、自衛官採用種目のほか、防衛大学校や防衛医科大学校などの説明も実施した。一般大学との違いを説明することにより自衛隊に興味を持った学生もあり、来年度の志願に繋がることを期待したい。

なお、本進学・就職説明会には、大学・専門学校約40校が参加、就職系では自衛隊、長崎県警、島原市役所が参加しておりそれぞれのブースには多くの学生達が訪れていた。

島原地域事務所は、今後もこのような活動に積極的に参加し、自衛隊を理解していただく環境作りに努め、1人でも多くの優秀な自衛官の獲得に努めていきたい。

(島原地域事務所)



■自衛隊ブースにて説明





# 即応予備自衛官としての顔を見て ～即自雇用主～



長崎地本(本部長 江上昌利 1 等海佐)は、令和 3 年 11 月 18 日(木)大村駐屯地において、即応予備自衛官雇用主 8 名を招へいして招集訓練の研修を実施した。制度説明、即応予備自衛官との懇談、喫食体験及び訓練・史料館見学を通して即応予備自衛官制度の重要性を再認識していただくとともに、円滑な訓練出頭の際の整備の資とすることができた。

特に、植松訓練場で行われた訓練展示では、訓練担当部隊の状況説明に加え、臨場感溢れる訓練の様子を双眼鏡で熱心に見学する企業主の姿が見られた。参加された即応予備自衛官雇用主からは「即応予備自衛官の使命を改めて実感できた研修でした。」「企業で勤務する傍ら社会貢献に繋がる即自としての役割を果たす社員を、今後ともしっかりとサポートしていきたい。」という言葉を送った。

長崎地本は、予備自衛官等の勢力確保に繋がるよう、引き続き積極的な制度広報に努めていきます。



■即自との懇談

■訓練見学(植松訓練場)

## 年内最後の 自衛官候補生試験に奮闘

長崎地本(本部長 江上昌利 1 等海佐)は、令和 3 年 12 月 4 日(土)に第 4 回自衛官候補生試験を実施した。この試験には、県内の 17 名(男子 11 名、女子 6 名)が志願し、それぞれ筆記試験、適性検査及び口述試験並びに身体検査を受験した。この自衛官候補生の試験は、長崎地本として年内最後の試験であり、志願者は筆記試験において、口述試験においては、緊張感漂う中、「是非、自衛官になりたい。」と強い思いで挑んでいた。

自衛官候補生の制度は、入隊と同時に「自衛官候補生」に任命され、約 3 か月の間、自衛官として必要な資質を高めるため、自衛隊の組織、編成、規則、礼式などの基本的な技能を学び、その後、1 任期目は陸上自衛官が 1 年 9 か月、海上・航空自衛官が 2 年 9 か月部隊で勤務する制度である。任用期間内は職務を通じて体力と技能を磨きつつ、それらに関係する資格取得も目指すことができる。また、任期を終えても次期の継続任用が可能であり、更には選抜試験等を受験して曹を目指すこともできる。

志願者は試験終了後、試験をやり終えた充実感に溢れるとともに、担当する広報官から「お疲れ様」、「どうだった?」と声を掛けられ、満面の笑みで帰路に就いていた。

今後、この自衛官候補生試験に合格した若者が全国又は県内において、一人でも多く活躍できるよう長崎地本として応援するとともに、更なる志願者が多数入隊してくれることを祈念しつつ、日夜、募集活動に全力で取り組んで参ります。引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

(募集課)

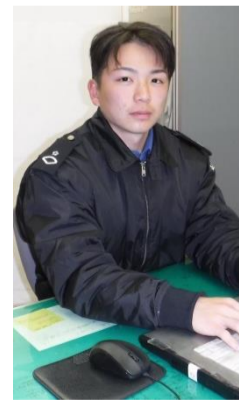


■真剣に試験に取り組む受験生



## 臨時勤務 お疲れ様でした

護衛艦「はるさめ」  
3 等海曹 三木 哲仁



受験から入隊までお世話になった琴海地域事務所、募集広報活動の支援を行うことができました。特に、母校である西彼農業高校を訪問し、学生に対して艦艇勤務での体験談を交えた説明等を実施することができ、普段では経験できないことをさせていただけました。部隊とは異なり、民間の方と接する機会が多いため、人と人との繋がりの重要性を改めて認識することができました。この経験を成長の糧とし、職務に邁進していきたいと思えます。

(令和 3 年 8 月 1 日から 12 月 24 日まで  
琴海地域事務所 臨時勤務)



平和を、仕事にする。



## 陸海空自衛官募集

自衛官募集

検索

お知り合いに自衛隊に興味がある方いませんか?

自衛官採用 32 歳まで!

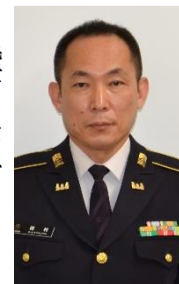
◆ 2 等空曹へ  
島原地域事務所  
3 等空曹  
永川 善大  
(令和 4 年 1 月 1 日現在)



◆ 1 等海曹へ  
島原地域事務所  
2 等海曹  
山口 雄志



◆ 陸曹長へ  
諫早地域事務所  
1 等陸曹  
西村 修



人事  
昇任